

【 注射 】

825 入院患者におけるビダラビン【注射薬】（带状疱疹）の算定について

《令和8年4月30日》

○ 取扱い

入院患者における带状疱疹に対するビダラビン【注射薬】（アラセナーA点滴静注用）の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

アラセナーA点滴静注用の添付文書の効能・効果は、「単純ヘルペス脳炎、免疫抑制患者における带状疱疹」である。

入院管理下にある患者には免疫機能低下状態がみられる。また、当該ウイルスに感染した場合には、周囲の入院中の免疫機能低下患者への感染の拡がりを極力防ぐことが重要である。したがって、入院中の当該ウイルス感染患者に対しては、速やかかつ強力な治療が必要であり、それには本剤の使用が有効と考えられる。

以上のことから、入院患者における带状疱疹に対するビダラビン【注射薬】（アラセナーA点滴静注用）の算定は、原則として認められると判断した。